

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-337553

(P2004-337553A)

(43) 公開日 平成16年12月2日(2004.12.2)

(51) Int.Cl.⁷

A47G 29/00

F I

A47G 29/00

A47G 29/00

J

C

テーマコード (参考)

3K100

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2003-172653 (P2003-172653)

(22) 出願日 平成15年5月14日 (2003.5.14)

(71) 出願人 592189169

稲見 昌之

東京都世田谷区奥沢7-12-23 佐藤

アパート2F6号

(72) 発明者 稲見 昌之

東京都世田谷区奥沢7-12-23 佐藤

アパート2F6号

Fターム(参考) 3K100 AA02 AE01 AF03

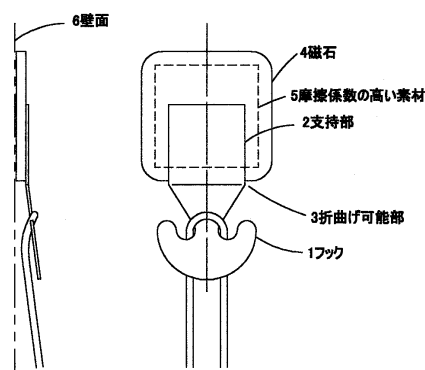
(54) 【発明の名称】 磁石式シート型安全フックの構造

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】磁石の吸着力を効率的に利用し、フックの保持力を大きくする磁石式シート型安全フックの構造を提供する。

【解決手段】シート型安全フックの支持部に取り付けられた磁石の取り付け面の一部又は全部に摩擦係数の高いシリコンゴムなどの薄いシートを取り付ける。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

シート型安全フックの固定に磁石を使う場合に、磁石の吸着力を効率的に利用し、フックの保持力を大きくする為の構造。

【発明の詳細な説明】**【0001】****【発明が解決しようとする課題点】**

通常、フックの固定に磁石を使う場合、負荷される荷重に応じてかなり強力なものが必要とされる為、重くかさばり、価格も高くなる。シート型安全フックにこういった磁石を使うと、薄く安価であるという本来の利点を損なう可能性がある。本発明の目的は磁石式シート型安全フックの固定構造を磁石の吸着力を効率的に利用出来るものとする事で、軽く、薄く、安い磁石の使用を可能とすることである。

10

【0002】**【課題を解決する為の手段】**

シート型安全フックの支持部に取付けられた磁石の取付面の一部又は全部に摩擦係数の高いシリコンゴムなどの薄いシートを取付ける（図1）。

【0003】**【作用】**

シート型安全フックはその特長から通常のフックに比べ、壁面に対して90度方向の力が小さく、壁面に沿ってすべる力の割合が大きい。このすべる力を磁石取付面の摩擦係数の高い素材で支えることで比較的小さな力で大きな荷重を保持することが出来る。つまり、本発明の固定構造を使うことで、磁石の吸着力を効率的に利用でき、軽く、薄く、安い磁石の使用が可能となる。

20

【0004】**【実施例】**

（イ）摩擦係数の高い素材を磁石につける方法は特に限定しない。

【0005】**【発明の効果】**

本発明の構造により、磁石式シート型安全フックが軽く、薄く、安くなる。

【図面の簡単な説明】

30

【図1】使用状態図**【符号の説明】**

- 1 はフック
- 2 は支持部
- 3 は折曲げ可能部
- 4 は磁石
- 5 は摩擦係数の高い素材
- 6 は壁面

【図 1】

